平成 30 年度

スポーツ科学コースにおける高大連携授業

☆スポーツ科学コースの目指す具体像

・「アスリートの育成」

・「地域との一体化とリーダーの育成」　・「体育教員・スポーツ指導者を目指す人材の育成」

・「スポーツを科学する」

☆高大連携授業（流通経済大学との連携）の目的

・高度な授業を体験し，部活動に生かす

・地域のスポーツ指導者としての資質の育成

（コーチング，トレーニング，コンディショニング，メンタル，救急法，マネジメント論等）

☆高大連携授業の詳細

	期日	実施学年	所属・役職	講師	模擬授業タイトル
第 1 回	11/8 （木）	1～3 年	流通経済大学助教	寺中（てらなか） 祥吾（しょうご）	スポーツコミュニケーション実習
第 2 回	11/16（金）	1・2 年	流通経済大学教授	荒井（あらい） 宏和（ひろかず）	スポーツ情報戦略
第 3 回	12/4 （火）	2・3 年	流通経済大学教授	坂本（さかもと） 充（みつる）	用具を用いた脳トレ
第 4 回	12/11（火）	1・3 年	流通経済大学准教授	向山（むこうやま） 昌利（まさとし）	スポーツと国際協力

☆授業の様子

第１回　スポーツコミュニケーション実習（寺中　祥吾先生）　対象：１２３年５組

グループを作り、自己紹介から

全員で立ち上がる！

力を合わせて！工夫を凝らして！

ストーリーを順番に並べてみよう！

先生からのアドバイスを聞く生徒達

生徒の感想

○「チームづくり」ということがテーマで様々なグループ活動が行われたが，自分の理想のチームと現実のチームの形が全然違うことが再確認できた。

○チームがまとまるには，混乱期があるけれど，それを乗り越えて誰かが積極的に行動していかなければいけないし，自分もリーダーとして，そのような存在にならないといけないと思った。

第２回　スポーツ情報戦略（荒井　宏和先生）　対象：１年５組・２年５組

荒井先生の講義の様子

サポーターとは何か？

真剣に話を聞く生徒たち

生徒の感想

○スポーツをやる上で大切なことは，技術だけでなく，情報を活用して戦略を立てることだということが分かった。「情報なくして戦略なし，戦略なくして勝利なし」という言葉が印象深かった。今まで，部活では勝ち負けだけにこだわっている部分が多かったけど，細かく戦略を立てることがいかに大切か，負けた後の行動や原因を探り，失敗した後の自分の行動を見直していきたいと思った。

○講義の中にあった「スポーツから仕事に転用可能な１０のスキル」に興味を持った。特に「失敗から多くを学び，反省を活かす」や「タイムマネージメントが必要な場面において厳密にスケジュールをこなす」など，社会に出た時に役立つスキルを教えて頂き，今後に活かしたいと思った。

第３回　用具を用いた脳トレ（坂本　充先生）　対象：２年５組・３年５組

課題に必死に取り組む生徒たち

ボールを使用してトレーニング！

ラダーを用いて　脳トレ！

生徒の感想

○今回，脳トレがスポーツの一つであることを知ることができました。聞いたり，見たりすると簡単に思えましたが，実際やってみると難しくて大変でした。言われた内容を聞いて実践することは，当たり前のことだと思わず，もっと内容を理解して考えて動くことが大切だと思いました。

○初めて脳トレを行った。頭では理解できても体が思うように動かないことが多くて，想像していたより難しかった。手と足の動きを変化させたり，難易度が上がるにつれて，どんどん楽しくなって，スポーツの楽しみ方には色々な方法があることもわかった。

第４回　スポーツと国際協力（向山　昌利先生）　　対象：１年５組・３年５組

向山先生の講義の様子

お礼の言葉を述べる生徒

生徒の感想

○世界の人々とより良い機会を築く一つの手段として，スポーツは有効だということが学べた。オリンピックやワールドカップはその一つの例であることもわかった。

○企業を通じて，サッカーやラグビーなどが場所を提供していることがわかり，企業側としてもスポンサーとしてスポーツを支援したり，良い影響を与えていることが，とても素晴らしいことだと感じた。

○様々な国のスポーツの取り組みを目の当たりにして，私たちのように，環境も整っており，やりたい時に好きなだけスポーツに取り組めることは恵まれているし，感謝しなければいけないと思いました。

流通経済大学の先生方

ありがとうございました。